

2021年度 決算説明資料

当期決算の特徴（単体）	……………	1
I 2021年度通期（2022年3月期）決算の概要		
1. 預金、貸出金の残高【単体】	……………	2
2. 利鞘【単体】	……………	3
3. 預り資産残高・期中販売額【単体】	……………	3
4. 損益状況【単体】	……………	4
5. 損益状況【連結】	……………	6
6. 業務純益【単体】	……………	7
7. 債券等関係損益【単体】	……………	7
8. 株式等関係損益【単体】	……………	7
9. 有価証券の評価損益【単体】・【連結】	……………	8
10. ROE【単体】	……………	8
11. 自己資本比率（国際統一基準）【単体】・【連結】	……………	9
II 貸出金等の状況		
1. 貸倒引当金と自己査定結果（債務者区分別）【単体】	……………	10
2. 金融再生法開示債権およびリスク管理債権の状況 【単体】・【連結】	……………	10
3. 業種別貸出状況等	……………	11
(1) 消費者ローン残高【単体】	……………	11
(2) 中小企業等貸出金残高・比率【単体】	……………	11
(3) 業種別貸出金残高【単体】	……………	12
4. 地域別貸出状況等	……………	12
(1) 特定海外債権残高【単体】	……………	12
(2) 地域別貸出金【単体】	……………	12
III 2023年3月期の業績予想	……………	13

当期決算の特徴(単体)

◆業務粗利益と臨時損益の増加を主因に経常利益、当期純利益ともに増益

(詳細は、4～5頁をご覧ください。)

- ◇ 有価証券利息配当金が前期比1,982百万円増加したこと等により、資金利益は同2,642百万円増加しました。
- ◇ 役務取引等利益は前期比1,364百万円増加、その他業務利益は同467百万円減少し、業務粗利益は同3,539百万円の増益となりました。
- ◇ 次世代基幹系システム関連投資により物件費が増加したことから、経費は全体で前期比6,068百万円増加し、実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は同2,528百万円の減益、業務純益は同2,301百万円の減益となりました。
- ◇ 臨時損益は、株式等関係損益の増加と不良債権処理額の減少を主因に、全体で前期比14,868百万円増加し、経常利益は同12,567百万円の増益となりました。一方、特別損益は前年同期比2,572百万円減少、法人税等合計は同3,964百万円増加しました。
- ◇ これらの結果、当期純利益は前期比6,030百万円増益の17,361百万円となり過去最高益となりました。

(単位:百万円)

	2021年度 通期	2020年度 通期	前年同期比
業務粗利益	57,847	54,307	3,539
資金利益	47,748	45,106	2,642
うち貸出金利息	33,412	34,563	△1,150
うち有価証券利息配当金	15,488	13,505	1,982
うち預金等利息 (△)	632	918	△285
役務取引等利益	10,582	9,218	1,364
その他業務利益	△484	△16	△467
[うち債券等関係損益]	[△1,415]	[△718]	[△696]
経費 (△)	46,733	40,665	6,068
人件費 (△)	18,834	19,496	△661
物件費 (△)	24,596	18,328	6,267
税金 (△)	3,302	2,839	462
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	11,113	13,642	△2,528
コア業務純益	13,740	14,611	△871
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	13,283	14,280	△997
一般貸倒引当金繰入額〔①〕 (△)	626	853	△227
業務純益	10,487	12,789	△2,301
臨時損益	12,454	△2,413	14,868
うち株式等関係損益	10,936	3,143	7,792
うち償却債権取立益	498	366	131
うち不良債権処理額〔②〕 (△)	1,487	6,729	△5,242
うち貸倒引当金等戻入益〔③〕	22	25	△3
経常利益	22,942	10,375	12,567
特別損益	△590	1,981	△2,572
うち固定資産処分損益	△81	2,297	△2,379
うち減損損失 (△)	509	316	192
税引前当期純利益	22,351	12,356	9,994
法人税等合計 (△)	4,989	1,025	3,964
当期純利益	17,361	11,331	6,030
与信コスト(①+②-③) (△)	2,090	7,557	△5,467

I 2021年度通期（2022年3月期）決算の概要

1. 預金、貸出金の残高【単体】

当期中の預金等（譲渡性預金を含む）の期中平均残高は、前期比2,419億円増加（増加率4.58%）し、5兆5,192億円となりました。うち、コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆9,539億円と同1,715億円の増加となりました。

一方、貸出金の期中平均残高は4兆570億円となり、前期比622億円の増加（増加率1.55%）となりました。これは、事業性貸出・消費者向け貸出・地公体向け貸出がそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、預貸率は73.50%で、前期比2.19%低下いたしました。今後も引き続き、運用力の一層の強化に努め、良質な貸出金の増強に努力してまいります。

(金額単位：百万円)

〔期中平均残高〕	2022年3月期	(比較欄上段は増減率)		2021年度中間期	2021年3月期
		2021年度中間期比較	2021年3月期比較		
預金等 (預金＋譲渡性預金)	5,519,227	(0.22%) 12,507	(4.58%) 241,963	5,506,719	5,277,263
うち滋賀県内	4,810,875	12,780	227,462	4,798,094	4,583,413
預金	5,452,114	11,491	250,350	5,440,623	5,201,763
うち個人預金	3,953,968	33,878	171,543	3,920,090	3,782,425
うち法人預金	1,268,687	△3,513	63,365	1,272,201	1,205,321
譲渡性預金	67,112	1,016	△8,387	66,096	75,500
貸出金	4,057,031	(0.05%) 2,349	(1.55%) 62,238	4,054,682	3,994,793
うち滋賀県内	2,485,334	7,659	74,509	2,477,674	2,410,825
うち消費者向け貸出	1,057,146	4,721	21,954	1,052,425	1,035,192
うち事業性貸出	2,453,800	△4,075	10,582	2,457,875	2,443,217
預貸率	73.50%	△0.13%	△2.19%	73.63%	75.69%

(金額単位：百万円)

〔期末残高〕	2022年3月末	(比較欄上段は増減率)		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較	2021年3月末比較		
預金等 (預金＋譲渡性預金)	5,672,379	(2.83%) 156,139	(3.74%) 204,882	5,516,240	5,467,497
うち滋賀県内	4,980,163	165,799	210,295	4,814,364	4,769,867
預金	5,616,699	180,579	212,741	5,436,120	5,403,957
うち個人預金	4,017,941	76,718	145,660	3,941,223	3,872,281
うち法人預金	1,278,868	20,494	29,262	1,258,374	1,249,606
譲渡性預金	55,680	△24,439	△7,859	80,120	63,540
貸出金	4,082,731	(1.03%) 41,956	(1.55%) 62,502	4,040,775	4,020,228
うち滋賀県内	2,510,651	6,641	45,953	2,504,010	2,464,698
うち消費者向け貸出	1,062,810	5,521	15,117	1,057,289	1,047,693
消費者ローン	1,041,322	7,553	18,954	1,033,769	1,022,368
その他の消費者向け貸出	21,488	△2,031	△3,836	23,519	25,324
うち事業性貸出	2,476,525	50,939	29,754	2,425,586	2,446,771
預貸率	71.97%	△1.28%	△1.55%	73.25%	73.52%

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 消費者向け貸出のうち、消費者ローンとは、借入の利便性向上のため予め貸出条件等を定めてパッケージ化した商品であり、その他の消費者向け貸出とは、消費者ローン以外の個人向け一般融資（事業性の貸出を除く）であります。

2. 利鞘【単体】

当期中の資金運用利回りは前期比0.16%低下の0.71%となりました。

資金調達原価は前期比0.02%上昇し、総資金利鞘は0.00%（同0.18%低下）となりました。

（単位：％）

〔全店分〕	2022年3月期	2021年度中間期比較		2021年度中間期	2021年3月期
		2021年度中間期比較	2021年3月期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	0.71	Δ0.08	Δ0.16	0.79	0.87
(i) 貸出金利回り (B)	0.82	—	Δ0.04	0.82	0.86
(ii) 有価証券利回り	1.21	Δ0.03	0.14	1.24	1.07
(2) 資金調達原価 (C)	0.71	—	0.02	0.71	0.69
(i) 預金等原価 (D)	0.85	—	0.07	0.85	0.78
(ii) 預金等利回り	0.01	—	—	0.01	0.01
(iii) 経費率	0.84	—	0.07	0.84	0.77
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	Δ 0.03	—	Δ0.11	Δ 0.03	0.08
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.00	Δ0.08	Δ0.18	0.08	0.18

（単位：％）

〔国内業務部門〕	2022年3月期	2021年度中間期比較		2021年度中間期	2021年3月期
		2021年度中間期比較	2021年3月期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	0.66	Δ0.07	Δ0.15	0.73	0.81
(i) 貸出金利回り (B)	0.82	—	Δ0.03	0.82	0.85
(ii) 有価証券利回り	1.09	Δ0.02	0.14	1.11	0.95
(2) 資金調達原価 (C)	0.70	—	0.03	0.70	0.67
(i) 預金等原価 (D)	0.83	—	0.06	0.83	0.77
(ii) 預金等利回り	0.00	—	Δ0.01	0.00	0.01
(iii) 経費率	0.83	—	0.07	0.83	0.76
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	Δ 0.01	—	Δ0.09	Δ 0.01	0.08
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	Δ 0.04	Δ0.07	Δ0.18	0.03	0.14

（注）小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 預り資産残高・期中販売額【単体】

預り資産残高

（単位：百万円）

	2022年3月末	2021年度中間期比較		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較	2021年3月末比較		
投資信託期末残高 (A)	169,350	9,963	23,353	159,386	145,997
公共債期末残高 (B)	48,268	Δ2,773	Δ5,931	51,042	54,200
金融商品仲介期末残高 (C)	47,283	2,604	2,553	44,678	44,730
預り資産残高合計 (A+B+C)	264,903	9,794	19,975	255,108	244,928
うち個人預り資産残高	241,331	9,249	18,048	232,081	223,282

期中販売額

（単位：百万円）

	2021年度	2020年度	
		前年同期比較	2020年度
投資信託	82,176	11,022	71,153
金融商品仲介	30,069	Δ6,086	36,155
保険	22,996	2,999	19,996

- （注） 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 保険の取扱開始以降の取扱保険料累計額は585,670百万円であります。

4. 損益状況【単体】

当行単体の当期の損益状況は次のとおりであります。

■有価証券利息配当金の増加等により資金利益は増益

貸出金利息は前期比1,150百万円減少して33,412百万円となりました。また、有価証券利息配当金は前期比1,982百万円増加し15,488百万円となりました。

この他、預け金利息の増加（前期比+1,478百万円）、預金等利息をはじめとする資金調達費用の減少（同△332百万円）等により、資金利益は全体で同2,642百万円増益の47,748百万円となりました。

■役務取引等収益の増加等により役務取引等利益は増益

役務取引等利益は、融資関係手数料や預り資産関係手数料等の役務取引等収益が増加したことを主因に、前期比1,364百万円増益の10,582百万円となりました。

■その他業務利益は減益となったものの、業務粗利益は増益

債券等関係損益（債券関係損益+金融派生商品損益）が前期比696百万円減少したことを主因に、その他業務利益は同467百万円減益の△484百万円となりました。

以上の結果、業務粗利益は57,847百万円で前期比3,539百万円の増益となりました。

■物件費の増加により、業務純益は減益

経費は、次世代基幹系システム関連投資による物件費の増加（前期比+6,267百万円）を主因に、全体で前期比6,068百万円増加し、46,733百万円となりました。

この結果、実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は前期比2,528百万円減益の11,113百万円、業務純益は同2,301百万円減益の10,487百万円となりました。

■臨時損益の増加により、経常利益、当期純利益ともに増益

臨時損益のうち、株式等関係損益が10,936百万円と前期比7,792百万円増加、不良債権処理額が1,487百万円と同5,242百万円減少し、これらを主因に臨時損益全体では同14,868百万円の増加となりました。

これらの結果、経常利益は22,942百万円と前期比12,567百万円の増益となりました。

この他、特別損益は前年同期比2,572百万円減少、法人税等合計は同3,964百万円増加となった結果、当期純利益は前期比6,030百万円増益の17,361百万円となり、過去最高益となりました。

（表示方法の変更について）

投資事業組合等への出資に係る利益又は損失については、従来、【単体】では「臨時損益」の「その他臨時損益」、【連結】では「その他経常損益（臨時損益）」の「その他経常損益」に含めて表示しておりましたが、投資事業組合等への出資に係る利益又は損失は、当行が基盤を有する滋賀県を中心とする地域企業への成長投資等の側面から、地域金融機関にとっては本業としての性質が強く、その観点から再度検討した結果、経営成績をより適切に表示する観点から、当期より「資金利益」（うち「資金運用収益」の「有価証券利息配当金」）に含めて表示することといたしました。

そのため、会計情報の比較可能性を確保する観点より、前期である2021年3月期（「2022年3月期 決算短信 決算説明資料」内の【単体】P5、【連結】P6等）についても、上記の考え方にに基づき、組み替えて表示しております。

【 単 体 】

(単位：百万円)

項番		2022年3月期	2021年3月期比較	2021年3月期
1	業 務 粗 利 益	57,847	3,539	54,307
2	資 金 利 益	47,748	2,642	45,106
3	うち 資金運用収益	50,687	2,310	48,377
4	うち 貸出金利息	33,412	Δ1,150	34,563
5	うち有価証券利息配当金	15,488	1,982	13,505
6	うち 資金調達費用(Δ)	2,941	Δ332	3,274
7	うち 預金等利息(Δ)	632	Δ285	918
8	役 務 取 引 等 利 益	10,582	1,364	9,218
9	役 務 取 引 等 収 益	14,877	826	14,051
10	役 務 取 引 等 費 用 (Δ)	4,294	Δ537	4,832
11	そ の 他 業 務 利 益	Δ484	Δ467	Δ16
12	(うち債券等関係損益)	Δ1,415	Δ696	Δ718
13	うち 国内業務粗利益	53,710	2,720	50,989
14	資 金 利 益	43,723	2,182	41,541
15	役 務 取 引 等 利 益	10,291	1,321	8,969
16	そ の 他 業 務 利 益	Δ304	Δ782	478
17	経 費 (除 く 臨 時 費 用 分) (Δ)	46,733	6,068	40,665
18	人 件 費 (Δ)	18,834	Δ661	19,496
19	物 件 費 (Δ)	24,596	6,267	18,328
20	税 金 (Δ)	3,302	462	2,839
21	実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	11,113	Δ2,528	13,642
22	コ ア 業 務 純 益	13,740	Δ871	14,611
23	コア業務純益(除く投資信託解約損益)	13,283	Δ997	14,280
24	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (Δ)	626	Δ227	853
25	業 務 純 益	10,487	Δ2,301	12,789
26	臨 時 損 益	12,454	14,868	Δ2,413
27	株 式 等 関 係 損 益	10,936	7,792	3,143
28	償 却 債 権 取 立 益	498	131	366
29	不 良 債 権 処 理 額 (Δ)	1,487	Δ5,242	6,729
30	貸 倒 引 当 金 等 戻 入 益	22	Δ3	25
31	そ の 他 臨 時 損 益	2,484	1,704	779
32	経 常 利 益	22,942	12,567	10,375
33	特 別 損 益	Δ590	Δ2,572	1,981
34	うち 固定資産処分損益	Δ81	Δ2,379	2,297
35	固 定 資 産 処 分 益	0	Δ2,410	2,411
36	固 定 資 産 処 分 損 (Δ)	82	Δ31	113
37	うち 減損損失(Δ)	509	192	316
38	税 引 前 当 期 純 利 益	22,351	9,994	12,356
39	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 (Δ)	5,571	Δ129	5,700
40	法 人 税 等 調 整 額 (Δ)	Δ581	4,094	Δ4,675
41	法 人 税 等 合 計 (Δ)	4,989	3,964	1,025
42	当 期 純 利 益	17,361	6,030	11,331
43	与信コスト(貸倒償却引当費用) (Δ) [24+29-30]	2,090	Δ5,467	7,557

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 債券等関係損益＝国債等債券関係損益(5勘定戻)＋金融派生商品収益－金融派生商品費用
3. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益(5勘定戻)
4. コア業務純益(除く投資信託解約損益)＝コア業務純益－投資信託解約益
投資信託解約益は資金利益に、投資信託解約損は国債等債券関係損益に計上しております。

5. 損益状況【連結】

当行は連結子会社が7社あり、連結決算を実施しております。

当期の連結経常利益は前期比12,929百万円増益の23,999百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は同6,267百万円増益の17,715百万円となりました。

【連結】

損益の概要

(単位：百万円)

項番		2022年3月期	2021年3月期比較	2021年3月期
1	連結業務粗利益	60,437	3,372	57,064
2	資金利益	46,783	2,650	44,132
3	役務取引等利益	13,273	1,294	11,978
4	その他業務利益	380	△572	953
5	営業経費（臨時費用処理分を除く）(△)	48,235	6,075	42,159
6	連結実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12,202	△2,703	14,905
7	一般貸倒引当金繰入額(△)	574	△402	976
8	連結業務純益	11,628	△2,300	13,928
9	その他経常損益（臨時損益）	12,371	15,229	△2,858
10	不良債権処理額(△)	1,541	△5,603	7,144
11	貸出金償却(△)	500	△159	660
12	その他の貸倒引当金繰入額（一般貸倒引当金繰入額を除く）(△)	1,033	△5,449	6,482
13	その他債権売却損等(△)	8	6	2
14	貸倒引当金等戻入益	22	△3	25
15	償却債権取立益	498	131	366
16	株式等関係損益	10,935	7,792	3,143
17	売却益	13,753	8,211	5,542
18	売却損(△)	2,734	1,910	823
19	償却(△)	83	△1,491	1,575
20	その他経常損益（営業経費中臨時処理分を含む）	2,459	1,705	754
21	金銭の信託運用見合費用(△)	2	△0	3
22	経常利益	23,999	12,929	11,070
23	特別損益	△590	△2,572	1,981
24	税金等調整前当期純利益	23,408	10,356	13,051
25	法人税、住民税及び事業税(△)	6,186	△204	6,390
26	法人税等調整額(△)	△493	4,293	△4,787
27	法人税等合計(△)	5,692	4,089	1,603
28	当期純利益	17,715	6,267	11,448
29	非支配株主に帰属する当期純利益(△)	—	—	—
30	親会社株主に帰属する当期純利益	17,715	6,267	11,448
	(参考)			
	与信コスト（7+10-14）(△)	2,093	△6,002	8,095

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 連結業務粗利益＝資金利益〔資金運用収益－（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用）〕＋役務取引等利益（信託報酬＋役務取引等収益－役務取引等費用）＋その他業務利益（その他業務収益－その他業務費用）
3. 連結業務純益＝連結業務粗利益－営業経費（臨時費用処理分を除く）－貸倒引当金繰入額（その他経常費用）中の一般貸倒引当金繰入額

6. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比較	
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	11,113	Δ2,528	13,642
職員一人当たり(千円)	5,431	Δ1,232	6,664
(2) 業務純益	10,487	Δ2,301	12,789
職員一人当たり(千円)	5,126	Δ1,121	6,247

- (注) 1. 金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 職員数は、期中平均人員を使用しております。

7. 債券等関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比較	
国債等債券関係損益(5勘定戻)	Δ2,626	Δ1,657	Δ968
売却益	3,907	1,303	2,603
償還益	—	Δ50	50
売却損	6,531	2,914	3,617
償還損	—	—	—
償却	1	Δ3	5
金融派生商品損益	1,211	961	250
債券等関係損益(合計)	Δ1,415	Δ696	Δ718

- (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

8. 株式等関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比較	
株式等関係損益(3勘定戻)	10,936	7,792	3,143
売却益	13,753	8,211	5,542
売却損	2,734	1,910	823
償却	83	Δ1,491	1,575

- (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

9. 有価証券の評価損益

(単位：百万円)

【 単体ベース 】	2022年3月末			2021年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	△2,166	10	2,177	△168	26	195
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	208,472	226,317	17,845	274,744	285,868	11,123
株式	220,938	221,335	396	272,910	273,452	541
債券	△3,802	2,269	6,071	3,119	7,056	3,937
その他	△8,663	2,713	11,377	△1,285	5,359	6,644
〔その他有価証券評価差額金〕	〔148,402〕			〔194,445〕		

【 連結ベース 】	2022年3月末			2021年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	△2,166	10	2,177	△168	26	195
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	209,747	227,592	17,845	276,287	287,410	11,123
株式	222,213	222,609	396	274,452	274,994	541
債券	△3,802	2,269	6,071	3,119	7,056	3,937
その他	△8,663	2,713	11,377	△1,285	5,359	6,644
〔その他有価証券評価差額金〕	〔148,955〕			〔195,174〕		

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 「その他有価証券」については期末日の時価に基づいて評価しておりますので、上記の表は貸借対照表又は連結貸借対照表計上額と取得価額との差額を記載しております。
3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

10. ROE【 単体 】

(単位：%)

	2022年3月期	2021年度中間期比較		2021年度中間期	2021年3月期
		比較	比較		
業務純益ベース	2.28	△0.51	△0.68	2.79	2.96
当期(中間)純利益ベース	3.77	△1.13	1.07	4.90	2.70

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

11. 自己資本比率（国際統一基準）

当行は信用リスクの計測手法として『FIRB（基礎的内部格付手法）』を、オペレーショナルリスクの計測手法として『粗利益配分手法』を採用しております。

なお、当行単体の当期末の総自己資本比率は14.84%で前期末（2021年3月末）比1.83%低下、連結ベースの当期末の総自己資本比率は15.14%で同2.05%低下となりました。

【単体】

(金額単位：億円)

	2022年3月末		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較		
① 単体総自己資本比率 (%) (④ ÷ ⑦)	14.84	Δ 1.78	16.62	16.67
② 単体Tier 1比率 (%) (⑤ ÷ ⑦)	14.84	Δ 1.78	16.62	16.67
③ 単体普通株式等Tier 1比率 (%) (⑥ ÷ ⑦)	14.84	Δ 1.78	16.62	16.67
④ 単体における総自己資本の額	4,194	Δ 445	4,640	4,596
⑤ 単体におけるTier 1資本の額	4,194	Δ 445	4,640	4,596
⑥ 単体における普通株式等Tier 1資本の額	4,194	Δ 445	4,640	4,596
⑦ リスク・アセットの額	28,260	344	27,915	27,559
⑧ 単体総所要自己資本額	2,260	27	2,233	2,204

【連結】

(金額単位：億円)

	2022年3月末		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較		
① 連結総自己資本比率 (%) (④ ÷ ⑦)	15.14	Δ 1.76	16.90	17.19
② 連結Tier 1比率 (%) (⑤ ÷ ⑦)	15.13	Δ 1.76	16.89	17.18
③ 連結普通株式等Tier 1比率 (%) (⑥ ÷ ⑦)	15.13	Δ 1.76	16.89	17.18
④ 連結における総自己資本の額	4,325	Δ 446	4,771	4,729
⑤ 連結におけるTier 1資本の額	4,323	Δ 445	4,769	4,726
⑥ 連結における普通株式等Tier 1資本の額	4,323	Δ 445	4,769	4,726
⑦ リスク・アセットの額	28,567	331	28,236	27,498
⑧ 連結総所要自己資本額	2,285	26	2,258	2,199

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

II 貸出金等の状況

1. 貸倒引当金と自己査定結果（債務者区分別）【単体】

当行単体の貸倒引当金の合計は309億円となり、前期末（2021年3月末）比6億円減少しました。

【単体】

(単位：百万円)

	2022年3月末	2021年9月末比較		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較	2021年3月末比較		
貸倒引当金	30,923	1,194	△657	29,728	31,581
一般貸倒引当金	12,527	594	626	11,932	11,901
個別貸倒引当金	18,396	600	△1,283	17,796	19,679
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

(自己査定区分別)	破綻先債権	144	△43	△117	187	261
	実質破綻先債権	1,529	△150	△85	1,679	1,615
	破綻懸念先債権	45,107	1,088	1,058	44,018	44,049
	要注意先債権	319,533	14,469	33,861	305,064	285,672
	要管理先債権	57,324	7,726	14,922	49,598	42,401
	その他要注意先債権	262,208	6,742	18,938	255,466	243,270
	正常先債権	3,766,667	25,114	25,128	3,741,552	3,741,538
	総与信残高	4,132,981	40,478	59,844	4,092,503	4,073,136

(部分直接償却額) (9,235) (△1,167) (△349) (10,402) (9,584)

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法開示債権およびリスク管理債権の状況【単体】・【連結】

当行単体の金融再生法に基づく開示債権の合計は832億円で前期末（2021年3月末）比116億円の増加、総与信に占める比率は前期末比0.26%上昇し2.01%となり、貸倒引当金や担保等による保全率は62.40%で同5.57%の低下となりました。

【単体】

(金額単位：百万円)

	2022年3月末	2021年9月末比較		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較	2021年3月末比較		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,673	△193	△203	1,867	1,877
危険債権	45,107	1,088	1,058	44,018	44,049
要管理債権	36,482	2,718	10,796	33,763	25,685
(うち三月以上延滞債権)	57	0	△79	56	136
(うち貸出条件緩和債権)	36,424	2,718	10,875	33,706	25,549
小計(A)	83,262	3,613	11,650	79,649	71,612
総与信残高に占める比率(A)÷(B)(%)	2.01	0.07	0.26	1.94	1.75
正常債権	4,049,718	36,864	48,193	4,012,853	4,001,524
合計(B)	4,132,981	40,478	59,844	4,092,503	4,073,136

保全額(C)	51,958	1,941	3,283	50,017	48,675
貸倒引当金	21,701	717	△445	20,984	22,146
担保保証等	30,257	1,223	3,728	29,033	26,528

保全率(C)÷(A)(%)	62.40	△0.39	△5.57	62.79	67.97
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

【 連 結 】

(金額単位：百万円)

	2022年3月末		2021年9月末	2021年3月末
	2021年9月末比較	2021年3月末比較		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,916	△225	2,142	2,020
危険債権	45,107	1,088	44,018	44,049
要管理債権	36,486	2,719	33,767	25,690
(うち三月以上延滞債権)	57	0	56	136
(うち貸出条件緩和債権)	36,429	2,718	33,710	25,553
小計 (A)	83,510	3,581	79,928	71,759
総与信残高に占める比率 (A)÷(B) (%)	2.02	0.07	1.95	1.76
正常債権	4,049,941	36,848	4,013,092	4,001,783
合計 (B)	4,133,451	40,430	4,093,020	4,073,543

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. 銀行法施行規則等の改正により、金融再生法開示債権とリスク管理債権が一本化されたことから、今回の開示より「リスク管理債権」の区分等を、「金融再生法開示債権」の区分等に合わせております。また、リスク管理債権は従来貸出金のみを対象としたものでしたが、今回の開示より、2021年3月末、2021年9月末の数値も含めて金融再生法開示債権と同様に総与信を対象としております。

3. 業種別貸出状況等

(1) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	2022年3月末		2021年9月末	2021年3月末
	2021年9月末比較	2021年3月末比較		
消費者ローン	1,041,322	7,553	1,033,769	1,022,368
住宅ローン	993,113	5,050	988,063	978,423
その他ローン	48,209	2,503	45,706	43,944

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 住宅ローンには地方公共団体制度融資(住宅資金)・協定住宅融資等の住宅関連融資を含めて記載しております。

(2) 中小企業等貸出金残高・比率【単体】

(単位：百万円、%)

	2022年3月末		2021年9月末	2021年3月末
	2021年9月末比較	2021年3月末比較		
中小企業等貸出金残高 (A)	2,685,933	38,347	2,647,586	2,675,155
うち中小企業向け残高(注)	1,644,611	30,794	1,613,817	1,652,787
国内店貸出金残高 (B)	4,062,187	36,104	4,026,083	4,009,031
中小企業等貸出金比率 (%) (A)÷(B)	66.12	0.36	65.76	66.72

- (注) 中小企業向け残高は、中小企業等貸出金残高 (A) より、上記 (1) の消費者ローン残高を控除して算出しております。なお、金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(3) 業種別貸出金残高【単体】

(単位：百万円)

	2022年3月末	2021年9月末比較		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較	2021年3月末比較		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	4,062,187	36,104	53,156	4,026,083	4,009,031
製造業	547,630	10,008	△11,810	537,621	559,441
農業・林業	7,072	168	△72	6,904	7,144
漁業	603	48	△3	554	606
鉱業・採石業・砂利採取業	10,203	△1,265	△1,918	11,469	12,122
建設業	130,733	7,148	3,077	123,584	127,655
電気・ガス・熱供給・水道業	93,220	10,069	25,568	83,150	67,651
情報通信業	17,130	△1,422	△5,257	18,553	22,388
運輸業・郵便業	178,727	3,965	△3,080	174,761	181,807
卸売業・小売業	422,466	△939	△6,852	423,406	429,318
金融業・保険業	87,868	△1,537	△7,504	89,405	95,372
不動産業・物品賃貸業	672,866	22,386	17,541	650,479	655,324
その他のサービス業	320,131	△7,291	△9,927	327,423	330,058
地方公共団体	529,087	△21,110	15,895	550,197	513,191
その他	1,044,445	15,874	37,498	1,028,571	1,006,946

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 地域別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

該当事項はありません。

(2) 地域別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	2022年3月末	2021年9月末比較		2021年9月末	2021年3月末
		2021年9月末比較	2021年3月末比較		
アジア	24,887	7,639	10,120	17,248	14,767
北米	10,710	425	452	10,284	10,258
中南米	6,929	3,492	5,037	3,437	1,892
オセアニア	4,462	208	2,462	4,254	2,000
西欧	7,895	379	1,806	7,515	6,089
東欧・ロシア等	—	—	—	—	—
中東	4,895	418	4,895	4,476	—
アフリカ	2,447	1,328	2,447	1,119	—
合計	62,229	13,893	27,222	48,336	35,006

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Ⅲ 2023年3月期の業績予想

〔主要勘定(通期の期中平均残高)〕

(金額単位：億円)

	単 体		連 結	
	予想平均残高	前期比較	予想平均残高	前期比較
預金等(譲渡性預金含む)	56,396	(2.1%) 1,204	56,203	(2.1%) 1,204
貸 出 金	41,903	(3.2%) 1,333	41,720	(3.3%) 1,333
有 価 証 券	13,261	(4.0%) 511	13,230	(4.0%) 511

(注) 前期比較欄の上段の()内は、前期比増減率であります。

〔利回り〕【単体】

(単位：%)

	予想利回り	前期比較
預金等(譲渡性預金含む)	0.01	—
貸 出 金	0.81	△0.01
有 価 証 券	1.11	△0.10

〔損益〕

【単体】

(単位：百万円)

	中間期(2022年9月期)			通期(2023年3月期)		
	2022年9月期 予想	2021年9月期 実績	2021年9月期 比較	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	2022年3月期 比較
経常利益	13,500	16,233	△2,733	20,000	22,942	△2,942
当期(中間)純利益	10,000	11,767	△1,767	14,500	17,361	△2,861

【連結】

(単位：百万円)

	中間期(2022年9月期)			通期(2023年3月期)		
	2022年9月期 予想	2021年9月期 実績	2021年9月期 比較	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	2022年3月期 比較
経常利益	14,000	16,716	△2,716	21,000	23,999	△2,999
当期(中間)純利益(注)	10,200	11,910	△1,710	14,800	17,715	△2,915

(注) 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益を表示しております。